

序文

導 入 部

緑の世界と人間の世界 三

生計を立てるのも楽じゃない

1 食糧増産の新しい手段 一五

2 水生シグとイネとの組み合わせ 二三

3 浪費的な葉 二九

4 膜の障壁 三六

5 家畜の暈倒病うんとうびょう 四七

植物は自分を調整する

6 植物学者チャールズ・ダーウィン 五九

7 どちらが上でどちらが下か 七三

8 腐ったリングと熟したバナナ 八三

9	植物のスイッチを切ったり入れたり	六〇
10	性とダイズ	六九
11	植物だって手をこまねいてはいない	二〇九
	植物は動く	

12	葉のことば	二一九
13	生命は基本的には一つ	二二八
14	植物の力の限界	二三三

寿命、死、不死、などをめぐる話題

15	不死のニンジン	二四三
16	裸かの細胞	二五二
17	新しい植物を鑄る	二六一
18	クローン登場	二七四
19	植物の癌	二八二
20	不老長寿の秘薬をもとめて	二九二

風変わりな植物

- 21 生きている化石……………二〇三
- 22 グワーユールは跳ね返る……………二一〇

植物と環境

- 23 どれだけ安全なら本当に安全か……………二二三
- 24 有機園芸家と反主知主義……………二三三
- 25 終結部……………二四〇

訳者あとがき……………二四七

